

1 競技特性に応じた感染防止策

- 開始式は行わない。
- 自チーム応援場所は、控え選手はフロア、保護者は観覧席のみとする。(各会場での指示を確認すること)
- 各会場の利用上の注意に従って、入校・移動をすること。
- 観覧席出入口、体育館フロア出入口はできる限り開放した状態で競技する。(換気の工夫をすること)
- 試合は、フォーボールとし、ラリーごとに消毒・拭き取りしたボールを使用する。消毒・拭き取りは各チームのベンチスタッフ、ベンチ控え選手(ベンチ外選手は不可)で行い、各ベンチで常に控えのボールを準備しておく。
- セット間のコートチェンジ、試合終了時には、ベンチの消毒・拭き取りを各チームで行う。
- アップゾーンの制限ラインを設けず、控え選手の間隔を空けやすいようにする。
- 試合開始前、終了時のあいさつは、握手をせず、一礼とする。
- タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用を禁止する。
- 試合終了後、次試合の両チームは前試合両チームが完全に撤退の後、会場担当者の指示に従って、密にならないよう、ゆっくりと落ち着いてコートに入ること。
- 補助員は、マスクを着用し、線審は、持参した自チームのフラッグを使用する。
- 記録員は、持参した自チームの筆記具を使用する。
- ベンチスタッフ、ベンチ入りメンバーは試合中もマスクを着用する。ベンチ外メンバーの応援者も同様にマスクを着用する。

2 各チームの準備物

- 試合球 2 球(本部へ提出すること。試合終了後、当日にまだ試合がある場合、2 球とも大会本部へ返却すること。)
- ベンチの消毒・拭き取り用の雑巾、除菌スプレー・除菌シート等
- ワイピング用タオル・雑巾(多めに準備)
- ラインズマンフラッグ
- I F (記録)用の筆記用具

3 その他注意事項

- 更衣場所では密を避け、使用後は各チームがその都度消毒作業を行う。飲食については原則屋外とし、会場からの指示に従うこと。感染防止の観点からも特に注意を払うこと。
- 原則として、試合や補助員終了後は体育館内に残らない。更衣・飲食・生徒待機場所については、マイクロバス等で来校する場合、可能な限り自チームのバス等を利用すること。
- 送迎時の乗降や荷物の積み降ろし等については各会場からの指示に従うこと。
- 試合の様子を撮影した動画を同時配信したり、インターネットを介して拡散したりしない。